

2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年10月11日

東

上場会社名 エスフーズ株式会社

上場取引所

コード番号 2292

URL <https://www.sfoods.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村上 真之助

問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理本部長（氏名） 鶴木 健治（TEL）0798(43)1065

半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 2024年10月31日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	218,900	4.7	2,643	△68.3	3,471	△63.2	1,215	△83.0
2024年2月期中間期	208,986	7.8	8,333	△3.0	9,426	△2.9	7,166	25.2

（注）包括利益 2025年2月期中間期 6,969百万円（△41.7%） 2024年2月期中間期 11,952百万円（34.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	38.41	—
2024年2月期中間期	226.61	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	239,082	132,159	52.0
2024年2月期	224,240	126,576	53.0

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 124,221百万円 2024年2月期 118,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	42.00	—	42.00	84.00
2025年2月期	—	44.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	45.00	89.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	445,000	4.7	7,300	△42.4	8,300	△42.3	4,200	△53.7	132.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(中間期)

2025年2月期中間期	32,267,721株	2024年2月期	32,267,721株
2025年2月期中間期	617,567株	2024年2月期	632,484株
2025年2月期中間期	31,641,039株	2024年2月期中間期	31,626,854株

発行済株式数に関する注記

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における日本経済は、内需の伸びやインバウンド需要の回復増加などにより、緩やかな景気回復基調にありました。ただ、国内金利の上昇や海外経済の失速などにより国内経済が再び冷え込む懸念も捨てきれない状況ではあります。当食肉業界においては、消費者の節約志向の高まりから、原価及び諸コストの高騰分を小売価格に転嫁することが難しく、収益の確保が困難な環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、食肉の生産から小売り・外食まで一貫して携わる食肉事業の垂直統合を戦略的に行っている総合食肉企業集団として、食肉商品の安定的供給と事業の持続的発展に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、首都圏を抱える東日本での営業力の強化を進めました。また、国産牛肉事業では、銘柄牛を中心とした国産牛の販売ルートの充実とシェアの拡大に努めました。輸入食肉事業においては、コロナ禍により傷ついた海外調達ルートの再構築を図りました。製品事業では、当社が強みを持つバラエティーミートや国産牛の優位性を生かした製品づくりを進めました。豚肉事業においては、当社独自ブランド「ゆめの大地」の品質向上と輸出強化を図りました。さらに将来の更なる成長に向け積極的な設備投資も継続しております。

食肉等の小売業においては、不採算店閉鎖を実施するとともに、新規ディベロッパーとの取組みを含めた出店や改装店の立ち上げの他、新業態店舗モデルの開発及び推進を図っております。また既存店の活性化を図るためのイベント型提案販売やレイアウトの再構築等を実施してまいりました。

外食業にあっては、インバウンドや大型のパーティー需要も寄与しているものの、原材料費やエネルギー価格の上昇を受け、メニュー改定を実施するなどの施策を行っており、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定しています。今後もお客様に安全に安心してご利用いただけるよう日々の店舗運営維持に努めてまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高2,189億円（前年同中間連結会計期間比4.7%増）、損益面につきましては、国内外とも原材料等のコスト高の環境下、収益確保に苦しんだことから、営業利益26億4千3百万円（前年同中間連結会計期間比68.3%減）、経常利益34億7千1百万円（前年同中間連結会計期間比63.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益12億1千5百万円（前年同中間連結会計期間比83.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は2,028億6千9百万円（前年同中間連結会計期間比5.0%増）、セグメント利益は22億3千8百万円（前年同中間連結会計期間比71.4%減）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は116億6千6百万円（前年同中間連結会計期間比0.8%減）、セグメント利益は6億5千万円（前年同中間連結会計期間比14.9%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は39億7千5百万円（前年同中間連結会計期間比7.5%増）、セグメント利益は2億7千3百万円（前年同中間連結会計期間比9.2%減）となりました。

④その他

売上高は3億8千9百万円（前年同中間連結会計期間比1.0%減）、セグメント利益は5千8百万円（前年同中間連結会計期間比345.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて148億4千1百万円増加し、2,390億8千2百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権の増加、棚卸資産の増加及び在外子会社の工場建設による建設仮勘定の増加による一方で、現金及び預金の減少によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて92億5千8百万円増加し、1,069億2千3百万円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴う仕入債務の増加及び短期借入金増加によるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて55億8千3百万円増加し、1,321億5千9百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2025年2月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日2024年10月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,858	38,708
受取手形及び売掛金	40,216	51,006
有価証券	-	1,000
商品及び製品	27,382	31,396
仕掛品	9,529	8,948
原材料及び貯蔵品	4,845	4,268
その他	4,328	5,977
貸倒引当金	△46	△130
流動資産合計	136,114	141,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	61,128	61,897
減価償却累計額	△31,105	△32,267
建物及び構築物(純額)	30,023	29,630
土地	15,814	15,899
建設仮勘定	15,007	24,587
その他	38,149	39,143
減価償却累計額	△29,830	△31,246
その他(純額)	8,319	7,897
減損損失累計額	△2,796	△2,803
有形固定資産合計	66,369	75,211
無形固定資産		
のれん	253	210
その他	306	292
無形固定資産合計	559	503
投資その他の資産		
投資有価証券	16,611	16,582
退職給付に係る資産	200	204
その他	4,576	5,882
貸倒引当金	△193	△476
投資その他の資産合計	21,196	22,192
固定資産合計	88,125	97,907
資産合計	224,240	239,082

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,803	33,058
短期借入金	7,866	11,090
未払法人税等	1,989	2,160
賞与引当金	1,363	1,216
その他	17,858	17,036
流動負債合計	54,881	64,561
固定負債		
社債	250	200
長期借入金	35,516	35,666
役員退職慰労引当金	128	102
退職給付に係る負債	1,818	1,779
その他	5,069	4,612
固定負債合計	42,782	42,361
負債合計	97,664	106,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,792	18,828
利益剰余金	85,994	85,881
自己株式	△397	△390
株主資本合計	108,688	108,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,155	5,208
繰延ヘッジ損益	△70	△42
為替換算調整勘定	4,930	10,364
退職給付に係る調整累計額	79	72
その他の包括利益累計額合計	10,095	15,603
非支配株主持分	7,792	7,938
純資産合計	126,576	132,159
負債純資産合計	224,240	239,082

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	208,986	218,900
売上原価	181,036	196,177
売上総利益	27,949	22,723
販売費及び一般管理費	19,616	20,080
営業利益	8,333	2,643
営業外収益		
受取利息	199	345
受取配当金	345	366
受取家賃	75	111
持分法による投資利益	1	2
為替差益	428	2
その他	423	212
営業外収益合計	1,473	1,041
営業外費用		
支払利息	151	133
アレンジメントフィー	100	-
賃貸原価	20	25
その他	108	53
営業外費用合計	380	212
経常利益	9,426	3,471
特別利益		
固定資産売却益	52	4
関係会社株式売却益	1,388	-
投資有価証券売却益	4	180
補助金収入	1,584	-
特別利益合計	3,028	184
特別損失		
固定資産処分損	24	27
減損損失	21	4
店舗閉鎖損失	1	0
固定資産圧縮損	1,583	-
投資有価証券売却損	4	-
投資有価証券評価損	374	-
貸倒引当金繰入額	-	274
子会社譲渡関連損失	-	215
特別損失合計	2,010	522
税金等調整前中間純利益	10,444	3,133
法人税等	2,979	1,655
中間純利益	7,465	1,478
非支配株主に帰属する中間純利益	298	263
親会社株主に帰属する中間純利益	7,166	1,215

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	7,465	1,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,628	38
繰延ヘッジ損益	142	28
為替換算調整勘定	2,713	5,433
退職給付に係る調整額	3	△9
その他の包括利益合計	4,487	5,491
中間包括利益	11,952	6,969
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	11,633	6,722
非支配株主に係る中間包括利益	319	246

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	10,444	3,133
減価償却費	2,280	2,121
減損損失	21	4
のれん償却額	30	42
賞与引当金の増減額(△は減少)	225	△146
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△14	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10	△57
受取利息及び受取配当金	△545	△712
支払利息	151	133
固定資産売却損益(△は益)	△52	△4
売上債権の増減額(△は増加)	△8,600	△10,394
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,977	△1,966
仕入債務の増減額(△は減少)	1,118	7,184
関係会社株式売却損益(△は益)	△1,388	-
補助金収入	△1,584	-
固定資産圧縮損	1,583	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	30	△876
その他	△1,896	△73
小計	△4,180	△1,616
利息及び配当金の受取額	698	712
利息の支払額	△150	△125
法人税等の支払額	△2,948	△1,723
補助金の受取額	0	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,581	△2,752
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△0	△1,019
有形固定資産の取得による支出	△7,013	△6,030
有形固定資産の売却による収入	108	7
無形固定資産の取得による支出	△14	△23
投資有価証券の取得による支出	△273	△4
投資有価証券の売却による収入	132	250
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による支出	△3,120	-
子会社株式の取得による支出	-	△2
貸付けによる支出	△421	△2,351
貸付金の回収による収入	417	449
補助金の受取額	1,583	-
その他	△77	109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,677	△8,614
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△258	3,222
長期借入れによる収入	11,000	3,500
長期借入金の返済による支出	△3,335	△5,629
社債の償還による支出	△50	△50
配当金の支払額	△1,231	△1,327
非支配株主への配当金の支払額	△75	△94
その他	△24	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,024	△421
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,475	1,619
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,759	△10,169
現金及び現金同等物の期首残高	46,601	49,597
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	96	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	38,939	39,428

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月24日 定時株主総会	普通株式	1,233	39.00	2023年2月28日	2023年5月25日	利益剰余金

2 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年10月12日 取締役会	普通株式	1,328	42.00	2023年8月31日	2023年10月31日	利益剰余金

当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月24日 定時株主総会	普通株式	1,328	42.00	2024年2月29日	2024年5月27日	利益剰余金

2 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年10月11日 取締役会	普通株式	1,392	44.00	2024年8月31日	2024年10月31日	利益剰余金

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	193,132	11,761	3,698	208,592	393	208,986	—	208,986
外部顧客への売上高	193,132	11,761	3,698	208,592	393	208,986	—	208,986
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,761	38	285	4,084	345	4,429	△4,429	—
計	196,893	11,799	3,983	212,677	739	213,416	△4,429	208,986
セグメント利益 又は損失(△)	7,830	764	300	8,895	13	8,908	△575	8,333

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、冷蔵倉庫業等であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△575百万円には、セグメント間取引消去183百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△759百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	202,869	11,666	3,975	218,511	389	218,900	—	218,900
外部顧客への売上高	202,869	11,666	3,975	218,511	389	218,900	—	218,900
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,826	101	334	4,262	362	4,624	△4,624	—
計	206,695	11,768	4,310	222,773	752	223,525	△4,624	218,900
セグメント利益 又は損失(△)	2,238	650	273	3,162	58	3,220	△577	2,643

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、冷蔵倉庫業等であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△577百万円には、セグメント間取引消去125百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△702百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。